

**製品名: AMPK ベータ 1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab01389**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 30 kDa; Observed MW: 38 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PRKAB1
別名	5' '-AMP-activated protein kinase subunit beta-1; AMP-activated; noncatalytic; beta-1; AMPK; AMPK beta 1 chain; AMPK subunit beta-1; AMPK-BETA-1; AMPKb; HAMPKb; PRKAB1
遺伝子 ID	5564
SwissProt ID	Q9Y478
免疫原	ヒト AMPK ベータ 1 の合成ペプチド

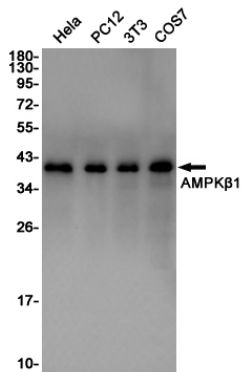
**背景**

AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) は、酵母から植物、動物に至るまで高度に保存されており、エネルギー恒常性の調節において重要な役割を果たしています。AMPK は、触媒  $\alpha$  サブユニットと調節  $\beta$  サブユニットおよび  $\gamma$  サブユニットからなるヘテロ三量体複合体であり、各サブユニットは 2 つまたは 3 つの異なる遺伝子 ( $\alpha 1, 2; \beta 1, 2; \gamma 1, 2, 3$ ) によってコードされています。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



AMPK ベータ 1 抗体を使用した、Hela、PC-12、3T3、COS7 溶解物中の AMPKβ1 のウエスタン ブロット分析。